



第106号

発行 吹田市民生・児童委員協議会
 発行責任者 木田正章
 編集責任 広報部会
 吹田市泉町1丁目3-40
 吹田市役所福祉総務室内

民生委員・児童委員**501**人（新任**80**人）に委嘱状



令和4年12月4日(日)吹田市文化会館メイシアター(大ホール)で、吹田市民生委員・児童委員委嘱状伝達式が開催され、後藤圭二吹田市長から、厚生労働大臣及び吹田市長の委嘱状が伝達されました。

委嘱状伝達式

一	面	委嘱状伝達式・民声
二	面	会長挨拶 民児協組織図 委員長集合写真
三	面	部会長の抱負 新任委員研修
四・五	面	新任委員紹介
六・七	面	各部会管内研修
八	面	地域福祉市民フォーラム 全体研修 編集後記

紙面紹介



民声

2010年に委嘱を受け13年目になります。委嘱を受ける時、自治会長より依頼がありました。最初は拒んでいましたが他に依頼する人がいないと、押し付けられたようなものでした。前任者より引継ぎを受け、毎月の会議に出席する間に委員長や委員の方とも打ち明け、敬老会や食事会など地域の高齢者とも親しくなり、顔見知りが多くなりました。この3年半ほどのコロナ禍の中、各行事が開けなく顔を合わす機会が少なくマスクをするため顔認識ができず道で出会っても挨拶もなくすれ違うことも多くありました。5月から、いろんな人との交流と支援がより一層できるようになることを望みます。

東地区 西村 時次

就任のごあいさつ

新会長 木田 正章



新会長 木田 正章

新型コロナウイルスのパンデミックから3年経ち、ウィズコロナといわれてようやく閉塞的な社会から日常が徐々に戻ってきつつあります。この間、民生・児童委員の活動においても色々考えさせられることが多々ありました。コロナ以外にも自然災害による緊急事態の対応も今後の課題と考えております。

今回の一斉改選後の民生・児童委員の定数の充足率、全国一万人の意識調査の結果は下表のような結果でした。

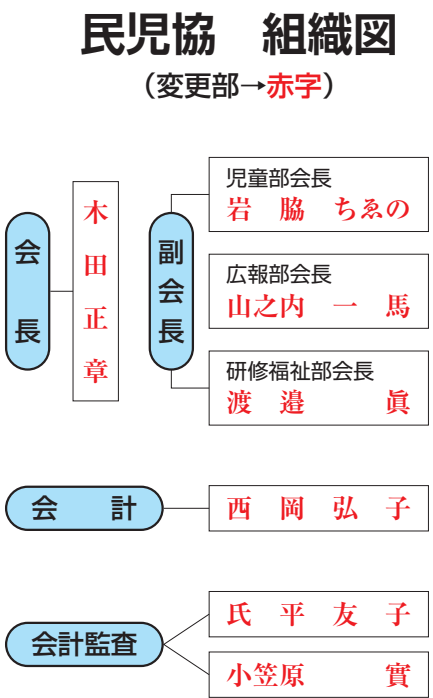
表1. 民生委員の充足率

全国平均	94%
大阪府	90%
吹田市	91%

表2. 全国1万人の意識調査

民生委員を知っている	64%
その他活動・役割を知っている	5.6%

(全国民生委員児童委員連合会)



- 吹 一 地区 委員長 岩本 正章
- 吹 六 地区 委員長 木田 正章
- 吹 二 地区 委員長 土井 隆代
- 吹 三 地区 委員長 西村 智昭
- 東 地区 委員長 橋本 智昭
- 吹 南 地区 委員長 間田 友弘
- 山 手 地区 委員長 淵平 保
- 片 山 地区 委員長 田淵 保
- 千 一 地区 委員長 片岡 緑定
- 千 二 地区 委員長 氏西 宏健
- 五月が丘 地区 委員長 西原 政一
- 千 三 地区 委員長 小笠原 教義
- 千里新田 地区 委員長 奥野 章雄
- 豊 津 地区 委員長 渡辺 章雄
- 岸 部 地区 委員長 西岡 弘子
- 山 一 地区 委員長 福部 弘子
- 山 二 地区 委員長 美濃 弘子
- 山三・山五 地区 委員長 三崎 弘子
- 南千里Ⅰ 地区 委員長 三宮 弘子
- 南千里Ⅱ 地区 委員長 宮入 弘子
- 北千里 地区 委員長 山石 弘子
- 藤白台 地区 委員長 白台 弘子
- 主任児童委員 代表

担い手不足、民生・児童委員の活動、役割の周知不足が明確になっています。そこで担い手の確保や地域住民への民生・児童委員の役割、民児協の活動の理解をうるためには更なる「認知度の向上」と「気づきから繋ぎのためのスキルアップ」を強化することで民生・児童委員の本来の重要な役割である困りごとの相談窓口としての『相談支援体制の強化』に繋がるものと考えております。前者については今年度から開設した「吹田市

民児協ホームページ」を充実して外部向きの広報、委員間情報交換などに有効活用していきたいと思えます。後者については現在の社会課題に対しては全員が受講しやすいオンライン研修の利用、さらにマニュアルなど

の作成により知見が深めていけることを期待しています。今後80・50問題、ヤングケアラーなど多岐にわたる複雑・複合化した困りごとに対しては地域共生社会の実現により広域で包括的かつ重層的な対応が必要となる。この中で地域の情報集約の窓口の役割を担っていかれたらと考えております。

の豊章美次子隆代一子子實明眞一弘子二聡治馬章雄 ちゑの 正留時眞 智昭友弘 保 緑定宏健 政一教義

新任委員研修

委嘱状伝達式終了後、吹田市福祉総務室による研修がありました。新任委員の今のお気持ちは…(アンケートから抜粋して記載)



- 地域の皆さんとつながれることに喜びを感じ、また同時に発生する責任などに身のひきしまる思いです。
- 自治会などの活動、交流の機会が一気に広まりそうなので、守秘義務には特に注意しなければならぬ。
- 責任の重みを感じています。前任者や先輩方にお聞きして

- やっていききたいと思っています。簡単に受けてしまった反省しています。あまりに責任が重く
- たくさんの資料を前に、自分のできるか少々不安になりました。社会とつながりを持ち、役立つようにと思っています。活動がいっぱいあって頭がこ

- ながらがっています。思っていたより重要なお手伝いだと感じ、難しさも感じています。
- 同じ気持ちの仲間に出会えよかったです。周りに仲間がいます。相談しながら活動してください。一緒に頑張りましょう。(広報部会)

部会長の抱負

令和4年12月1日より、研修部会と企画運営部会が統合され、研修福祉部会となりました。

児童部会は、児童委員・主任児童委員・部会長の29人構成です。コロナ禍で中断していた夢のファミリーフェスタや学校長との懇談会を3年振りに再開します。また地域の子育て支援を応援、児童生徒の健全育成に取り組めます。専門部会の夢のファミリーフェスタ担当・子ども見守り家庭訪問担当・児童虐待防止運動推進担当の3事業を更に活性化し事業増進と資質の向上を図りたいと考えています。



児童部会長
岩脇 ちゑの

以前在籍していた広報部会に、特別の感慨を抱いて戻ってきました。広報誌の役割は、民児協活動の発信と、地区間の交流・連携に寄与すること。ただ、広報誌は読まなければ発行する意味がありません。読みたくなるものにする必要があります。そこで、読んでもらえる広報誌作りを目指します。部会員一同で工夫し、楽しく和やかに制作していきます。



広報部会長
山之内 一馬

研修福祉部会長をお引受けいたしました豊津地区の渡邊真でございます。従来2部会で行っていた全体研修、10年研修、ブロック研修、災害時活動マニュアル、高齢者見守り支援マニュアル、安心安全カード、2期目交流会、関係行政機関一覧、活動記録記入手引きなど、たくさんの事業がありますが、研修の充実、民生・児童委員活動がしやすい環境を整備し委員のみならず、参加するためになる部会活動に努めてまいります。



研修福祉部会長
渡邊 眞

こんにちは！今期主任児童委員連絡会代表に選ばれた上野です。子どもたちの豊かな育ちを各方面に訴えていくために、何が必要か、何をしなければならぬのかを、みんなで考え学び、実践することをモットーに活動をすすめてまいります。主任児童委員を含め、民生・児童委員のみなさんのご協力を、よろしく願いいたします。



主任児童委員連絡会代表
上野 義雄



新しい仲間の皆さんです



令和4年12月1日委嘱

- | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|--|---|--|---|---|--|---|--|--|---|---|
| 
岸部地区
西川 浩美 | 
岸部地区
岡本 利典 | 
岸部地区
土肥 道子 | 
岸部地区
田村 信弘 | 
岸部地区
杉浦 彰俊 | 
岸部地区
北村 奈津美 | 
豊津地区
小川 由佳 | 
豊津地区
瀧川 真世 | 
吹三地区
木原 正詔 | 
吹三地区
塩崎 幸枝 | 
吹二地区
朝倉 義彦 | 
吹六地区
奥田 郁江 | 
吹六地区
上田 愛子 | 
吹一地区
栢田 由紀子 | 
吹一地区
玉谷 二郎 | 
吹一地区
石森 弘子 |
| 
山一地区
中川 育子 | 
山一地区
村上 裕康 | 
山一地区
竹山 博之 | 
山一地区
長野 英之 | 
山一地区
立本 弘美 | 
山一地区
宮川 恵 | 
山一地区
四井 資隆 | 
岸部地区
石田 義之 | 
山手地区
芳井 文香 | 
山手地区
松下 真里子 | 
山手地区
後藤 則子 | 
山手地区
濱崎 宏美 | 
吹南地区
前川 幸子 | 
吹南地区
堺 信子 | 
東地区
河本 晴実 | 
東地区
松田 美子 |
| 
山二地区
岸本 香生里 | 
山二地区
竹之下 文子 | 
山二地区
長田 三千世 | 
山二地区
清水 牧夫 | 
山二地区
野田 ひとみ | 
山二地区
大野 留美 | 
山二地区
藤原 尚美 | 
山二地区
谷口 倫子 | 
千二地区
浜田 晋治 | 
千二地区
赤田 均 | 
千一地区
山野 朋子 | 
千一地区
土井 恵美子 | 
片山地区
高畑 千鶴 | 
片山地区
竹谷 裕子 | 
山手地区
宮本 要太郎 | 
山手地区
安茂 悦子 |
| 
南千里I地区
首藤 紀久子 | 
山三・山五地区
矢野 弘典 | 
山三・山五地区
吉富 裕子 | 
山三・山五地区
林 てつよ | 
山二地区
川端 志乃 | 
山二地区
伊藤 清江 | 
山二地区
中井 隆 | 
山二地区
土谷 典固 | 
千里新田地区
上田 喜代子 | 
千三地区
町井 麻由里 | 
千三地区
田中 節子 | 
千二地区
安枝 啓子 | 
千二地区
中田 延亮 | 
千二地区
野口 節子 | 
千二地区
横山 博行 | 
千二地区
栗原 なほ子 |
| 
藤白台地区
伊藤 裕之 | 
藤白台地区
松持 敬道 | 
藤白台地区
石村 康二郎 | 
南千里II地区
細田 晴美 | 
南千里II地区
吉田 優子 | 
南千里II地区
小川 佳枝 | 
南千里II地区
秋野 武之 | 
南千里I地区
中原 淳子 | 
豊津地区
岩田 和久 | 
豊津地区
岩脇 阿紀 | 
豊津地区
中井 弘子 | 
豊津地区
田阪 かおる | 
豊津地区
吉田 尚美 | 
豊津地区
橋本 順子 | 
千里新田地区
川端 友佳子 | 
千里新田地区
佐々木郁理恵 |

研修部会

『防災について』 10月13日 千里市民センター

まず最初に総務部危機管理室による『地図と地形とデータで考える吹田のカタチと防災』についてでした。

市の南部に位置する市役所から北方向へ向かって山と谷を繰り返しながら徐々に土地が高くなっていることを知りました。従って川がなくても谷になっているところでは水害が起こっていることなど、市の断面図を見ながらわかりやすく説明していただきました。また今後想定される被災者の困りごとや取り組むことをみなで話し合いました。

次に福祉総務室による、『災害時要援護者支援に対する取り組み』についてでした。

災害時には要援護者に対する安否確認や避難誘導が必要です。そのために、本人同意の要援護者名簿が必要なこと、また支援は一人ひとり違いますので、適切な支援を行うために個別の避難計画が大切なこと、またその情報を共有すれば、災害時には迅速な支援ができるということです。

このような話を聞くことにより災害がおきた場合何より大切なのは、行政機関にたよるだけでなく、また自治会や民生・児童委員など特定の人だけ動くのではなく、地域全体で協力し、助けあえる形になっていくことが何より大切ではないかと、勉強させていただきました。(多賀 恵子)



企画運営部会

『防災について』 10月3日 メイシアター

近年、南海トラフ地震の発生率が今から約30年前後

80%の率であるとマスメディアが報じています。民生・児童委員としても対応を考えに入れなければなりません。これを踏まえて、『テーマ：防災について』として、みなさんと共有できれば、災害時に対応が可能と考えています。

吹田市民児協は、2019年10月吹田市と災害時要援護者名簿の提供について協定を結びました。名簿の扱い内容は、災害時だけでなく、普段の見守り活動にも使用するためです。

大規模災害(地震)が発生したとして考え、まず、自分自身の身の安全を確保することを優先。地震の特徴を知る。

○地震発生から約2分で一旦揺れが止まる。

○次の揺れが来る前に家族の安全確認をする。たとえば、「火の元確認・電気のブレーカーを切る・出入口確保」などを素早く行うことである。

大規模地震が起きると長期間避難所運営が続きます。事前にそのことを想定して準備する必要があります。

災害が起きると多くの方々が、怪我、死亡、家屋の倒壊などの犠牲を受け入れなければなりません。

民生・児童委員としてどのように役立つか全員で考えてみましょう。

(入江 政治)

令和4年度管内研修

広報部会

『民児協すいた 楽しくつくって委員会』

12月15日 メイシアター

(株)ユナイテッド・トゥモローの尾関栄二氏を講師に迎えて研修を行いました。尾関氏は、広告業界のコピーライターとして活躍されて現在は、NPO団体を紹介するフリーペーパーを発行されています。大変分かりやすくユーモアも交えて講演していただきました。

日頃「民児協すいた」を発行してきて限られた時間で部員も入れ替わる状態で、いかに良い広報誌を届けることができるだろうかと、専門家の話を聞くことにしました。

広報にとって一番大切なことは、「思いやり」そこで相手の身になって考えることである。広報とは広く報告するだけでなく広く報いることである。この言葉には驚きました。

誰にでも伝えたいは、伝わらない。誰にでも読んで欲しいでは、誰も読まない。読者の身になって思いやりを持つことであるといわれた。ページごとに相手をイメージすることには、感動すら覚えました。

そこで改めて「良い広報紙、だめな広報紙」について検証しました。紙面のカラー化や字を大きくして読みやすくしたりしていますが、マンネリ化・事実のみを伝えることに追われていると思いました。

私たちは、単に民生・児童委員の活動を報告するためだけにとらわれることなく、いかにして読者にとって読みやすい紙面作りを行っていくかを大切に考えていきたいです。(増田・伊東)



児童部会

『チャイルドラインすいたの活動』

10月18日 夢つながり未来館

はじめ、電話で悩みごとのある子どもたちの話を聞いて、アドバイスをする活動と聞いていました。当日いただいたパンフレットを見ますと、子どもの声を「聴く」活動とありました。「聞く」と「聴く」、どう違うんやろ、と思いながらああ、そうなんだと今回の研修を通して納得できました。以下、当日の流れと私の感じたことです。

はじめに代表の方から「チャイルドラインすいた」の説明、続いて3人の方が電話の受け手と聞き手にわかれて、実際の相談活動の様子を紹介されました。

その後、参加型の研修ということで、当日研修に参加されていた3人の方が登壇。「地域探検の場所を決める」ということで、3人が子ども(リーダーシップのある子、自己主張の強い子、内向的で自己主張が苦手な子)に扮して、名演技を披露されます。3人の子どもの話し合いは何かぎくしゃくしていて、地域探検の場所が、なかば強引に決まります。

この演技を見たあと、私たち参加者も3グループに分かれて感想を言い合い、その結果を発表します。その後、3人の方が「相手の声に耳を傾ける」というふう軌道修正して再度演じられます。最初のぎくしゃくした感じはなく、3人の子どもの個性が調和して「地域探検の場所」が決まっていきます。

「聞く」から「聴く」に姿勢を変えることで見違えるようになりました。そんな絵に描いたようにはいかへんやろ、と思う気持ちもありますが...

子どもの話に耳を傾けて「聴く」、すると子どもが自分自身の力で「ひと山」乗り越えていくんだ。そんなイメージを持ちました。子ども(大人も含めてですが)の心の可能性はすごいんだと、改めて感心した次第です。しかし「聴く」ことは大変な心のエネルギーを費やし、また気苦労の尽きない活動だと思います。

「チャイルドラインすいた」のみなさまには、満腔の敬意を表したいと思います。(井上 一)



地域福祉市民フォーラム

1月27日(金)

吹田市・吹田市社会福祉協議会共催
千里市民センター 大ホール

開会挨拶で後藤吹田市長がキーワードは「向こう三軒両隣」。吹田市は人口増加が著しく集合住宅が多く、隣りの物音が聞こえない気付きにくい街である。高齢化や認知症の増加も問題であると述べられた。

次に諸団体の活動報告にうつる。

1 吹田市社会福祉協議会

地域福祉を推進する団体で13人のCSWが活躍している。「ふだんのくらしの①あわせ」を追求し、地区福祉委員会活動を支援している。コロナ禍でも工夫して「独居高齢者ふれあい外出配食」「学生の協力を



得て実施したスマートフォン講座」などに取組んだ。80・50問題・引きこもり問題にも取組んでいる。

2 ホットとオレンジサロン

地域の認知症カフェでモットーは「認知症になっても楽しく暮らす」。

3 NPO法人フルハウス

不登校・高校中退・引きこもりなどの問題に携わる。

4 大阪信用金庫

「フードドライブ」などに取組んでいる。

基調講演は講師の方の体調不良のため中止となり後日動画配信される予定です。(増谷・宮崎)



熱心に聞き入る

木田正章会長の挨拶に続き、第1部「吹田の防災」危機管理室担当、第2部「災害時要援護者避難支援」福祉総務室担当の方々に講演していただいた。

1部では、地図や写真を見ながら吹田市の防災体制として、震度6弱以上ですべての避難所(135施設)を開設、5強以下は状況に応じて開設。物資の備蓄は避難生活者の1.5食分最低でも3日分の備蓄が必要。市職員と想定避難者数の比率は約52000人対して職員2800人。職員だけでは災害対応ができない。民生・児童委員の立場で地域と人のつなぎ手として災害時何をすべきか、どのようなことができるのかを考え、人と人の顔の見える関係を築いておく。個人的に非常持ち

吹田市民生・児童委員協議会 全体研修

担当：研修福祉部会 2月9日 メイシアターにて



出し品を取り出しやすい場所に揃えておく。第2部、各地域に災害時要援護者名簿を民生・児童委員が持っている。対象者は約4万人だが、支援が必要だと回答者13750人。吹田市の災害時要援護者避難支援の取り組みについて、私たち民生・児童委員として名簿をどのように活用するかは、地域によっていろいろ方法があるが、地域で連携を図り共有し、具体的に取組んでいく必要がある。

(後藤・河野)

コロナもそろそろ落ち着きを取り戻し、徐々に日常の生活がもどってきているように感じます。

リモートや手紙も良いですが、やはり対面でお話するのが一番ですね。

さて、今年度は一斉改選の年で、80人の新任委員が誕生しました。

新旧力を合せて、いろいろな事業や行事などになりと、そして楽しく取り組んでいきましょう。

そしてこれからも、みなさんに愛される「民児協すいた」を目標にがんばっていきたいと思います。

(肥田)



編集後記